

バラ科 キジムシロ属

ヘビイチゴ (蛇苺)

Potentilla hebiichigo Yonek. et H.Ohashi

自生環境

湿地、あぜ、河川敷 など

原産地

日本在来

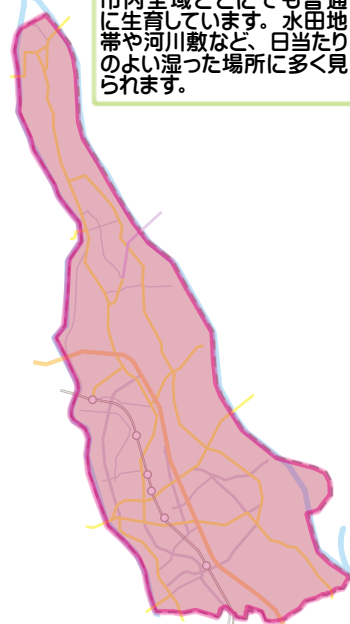
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通に、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域どこにでも普通に生育しています。水田地帯や河川敷など、日当たりのよい湿った場所に多く見られます。



特徴

- ☆ 湿った場所にごく普通に生える多年草です。地面を這うようにして広がり、茎の節々から根を出して増えていきます。葉は3枚1組で、縁はやや不規則に切れ込みます。葉色は黄緑色で、寒さにあると赤く色づきます。
- ☆ 春に直径 1.5cm ほどの黄色い花を次々咲かせます。花びらはふつう5枚ですが、枚数は多少変動することがあります。秋から初冬の頃にもちらほらと開花することがあります。がくは5枚ですが、その外側に副がく片と呼ばれる小さな葉のようなものが5枚、えりまき状につきます。
- ☆ 花後、鮮やかな赤色のいちごができます。果実（いちごのツブツブのひとつひとつ）の表面は、ルーペで拡大してみると、しわしわになっています。

毒はないけど…

ヘビイチゴは毒があるから食べられない…と思われるがちですが、じつは無毒で食べようと思えば食べられます。その代わり、見た目の鮮やかさとは裏腹にほとんど無味で、草特有の青臭さがわずかに感じられる程度です。さらに、スポンジのようにスカスカで食感もイマイチです。名前も、人ではなく蛇が食べるものだという発想から来ていますが、やはり味の悪さが関係しているのかもしれない。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

